

今季のシジュウカラの営巣では、親鳥は8個の卵を産みましたが、孵化して育ったのは6羽だけでした。過去の例でも、すべての卵が孵化して育つことはむしろ稀で、孵化しない卵があったり、ごく小さいうちに死んでしまう雛もいるのです。

幸い今回の営巣では、母親だけでなく父親も非常に熱心で、せっせと餌（シヤクガの幼虫や小さなバッタ類）を運び込んでいて、6羽とも順調に育っています。

餌をもらった雛は、ほとんどの場合、直後に糞もします。親鳥に見えるようにお尻を持ち上げて、白い糞を風船のように出すのです。親鳥はそれをくわえて、巣の外に捨てにいきます。こうして巣の中は清潔に保たれているのです。今回の動画にもその様子が映っています。

(2023年7月上旬／北軽井沢の巣箱)

